

## 日商簿記検定講座3級コースを受講して

宍戸 多恵

受講講座：日商簿記検定講座3級コース  
勤務先：茨城県

この度は、文部科学大臣表彰という栄誉を賜り、大変光栄に存じます。

私は本講座受講の少し前に、社会人3年目の異動で初めて県税の仕事に携わることになったのですが、当初はなかなか仕事に馴染めずにいました。学生時代に経済学系科目や会計学系科目をほとんど履行しておらず、また、これまで電卓を頻繁に使用するような経験があまりなかったためです。そこで当時の上司から、「県税での業務や今後の社会人生活にも役立つから」と本講座を勧められたことが受講のきっかけでした。

実を言うと、簿記3級は学生時代に挑戦しようと思ったことがあったのですが、就職活動やアルバイトとの時間の兼ね合いで、用語もほとんど分からない段階でやめてしまったという経験があり、漠然と苦手意識だけがありました。本講座を前年に受講していた人からは、「提出課題で規定の点数を取らないと再提出になる」と聞いていたので、受講前は期限内に終了できるか不安でいっぱいでした。

5月の下旬頃に教材が届いたため、資料に書かれていた標準的な学習スケジュールを参考にしつつ、自分の予定に合わせて大まかにスケジュールを組みました。平日はなかなかまとまった時間が取れなかったため、主にテキストを読んで内容を理解すること

に務め、練習問題やワークブックは休日に取り組んでいました。学習を進めていく上で分からないことがあっても、付属の手引きを参考にしたり、それでも分からないときは提出課題に記載して先生に丁寧な回答を頂いたりして、最後までスムーズに学習を進めることができたと思います。提出課題で満点を取った際に、先生がお褒めの言葉を書いてくださったこともとても励みになり、次の課題も頑張ろうと思いました。

受講期間が4か月ということだったので、予定どおり9月末までに課題を全て提出して講座を修了しました。それから約2か月後の試験日までは練習問題やワークブック、いただいた過去問を繰り返し解くことで、知識の定着や計算時間の短縮に繋がったと思います。その結果、令和元年11月の試験で無事3級に合格することができました。

当初予定されていた表彰式が新型コロナウイルスの関係で中止になってしまったことは残念でしたが、先日、職場にて無事表彰状を受け取りました。今後は本講座で学んだことを仕事などで活かせるよう、努力していきたいと思います。